

# 健康と福祉

分野3 | みんなが自分らしく幸せに生きるまち

## 人材育成・人材確保

保健・医療・福祉分野においては、人財不足の解消が大きな課題です。福祉分野では若い世代の職員の離職が目立っていることから、福祉事業所に就職した職員の介護福祉士資格取得を支援するため、研修費補助金を交付し、平成28年度から3年間で52人を支援。令和元年度には制度を改正し、介護福祉士修学資金貸与制度を創設しました。また、宮津市・伊根町とともに地域医療確保奨学金貸付制度を設け、平成30年度から令和3年度までに、医師志望者2人、看護師志望者25人に奨学金を貸与し、地域医療体制の維持に向けて支援を行いました。

福祉事業所数

# 74事業所

福祉事業所従事者数

# 924人

民生児童委員数

# 67人

誰もが安心して暮らせるよう、地域での支え合いの力を活かし、支援を必要としている方の孤立化を防ぐ取り組みを実施しました。身近な相談相手である民生児童委員の活動支援をはじめ、子育て支援センターや児童家庭相談室（クローバールーム）での専門家による各種相談、町内11カ所での認知症カフェ、精神障害者の居場所づくりなど、心のよりどころの充実を図りました。

## 心のよりどころ

## 健康寿命

京都府民の健康寿命は、男性71.85歳、女性73.97歳です。平均寿命は全国平均を上回っていますが、健康に生活できる期間である健康寿命は全国平均と比べ短くなっています。与謝野町では、健康寿命を延ばすため、健康相談や健康教室を実施しているほか、自ら健康状態を把握でき、病気の早期発見・早期治療につなげられるよう合併当初から特定健診とがん検診（肺・胃・大腸・乳・子宮・前立腺）を同時に無料で受診できる制度を設け、さらには社会保険被扶養者も町の特定健診とがん検診を受診できる体制を整えています。特定健診で把握した特定保健指導対象者への指導を積極的に実施した結果、メタボリックシンドローム該当者が年々減少しています。

特定健診受診率

# 41.2%

がん検診受診率(平均)

# 39.6%

7/24 8/28 9/25

第4日曜に知遊館でまちのみらいを話しましょう！

みらい会議  
開催決定!!  
まちのみらいを語り合うタウンミーティング「よさのみらい会議」を開催します。全3回の詳細は、6月24日発行の「広報よさのお知らせ版」でお知らせします。

# 交流と発信

分野2 | 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち

移住者数

# 25世帯 62人

## 移住支援制度・移住相談窓口

北部5市2町や国・府との連携事業等の合同移住定住相談会に与謝野町ブースを設置し、他府県からの移住希望者の相談機会を増やしたほか、空き家改修費用補助金や新築・中古住宅を購入した子育て世帯の移住定住支援補助金、移住特区外の登録空家改修の補助制度等により、移住者数は平成30年度から令和3年度まで毎年増加傾向で推移。期間合計は25世帯62人で、令和3年度は12世帯34人で過去最高となりました。この流れをさらに進めるため、令和3年度から移住支援窓口業務を委託し、町が対応できない庁舎閉庁日に移住希望者等の受付対応ができる体制を構築。移住検討者・移住希望者・移住者のサポート体制の強化を図りました。

## ふるさと納税

平成30年度から令和3年度までの4年間のふるさと納税額は、1億6,000万円を超えました。この間、令和2年度には個人を対象とするふるさと納税額が4,700万円超と年間の最高額を達成。令和3年度には企業版ふるさと納税の受入体制を整備するとともに、旧加悦鉄道車両の保存事業を対象としたクラウドファンディング型ふるさと納税も実施したことで、約1,200万円の寄付が得られ、ふるさと納税を通じて町に関心を寄せてもらうことができました。

ふるさと納税額

# 1.6億円

観光入込客数

# 142万人

観光消費額

# 19.4億円

与謝野ファン化  
平成30年度から令和3年度までの4年間の観光入込客数は、コロナ禍の影響を受け、平成29年度以前4年間と比較すると約43%減の142万人となりました。一方で、観光消費額は約22%減にとどまっております。これは「ファン化促進」をテーマに進める観光協会の取り組みの成果と言えます。この間、地域資源を活用した16の体験プログラムを造成。また、町においても旧加悦町役場庁舎、クアハウス岩滝、かや山の家の大規模改修を実施し、コロナ後を見据えた施設の充実を図りました。



アンケートフォーム

令和5年度から4年間の計画づくりに向けて、「まちづくりアンケート」を実施します。15歳以上の町内在住者から無作為に抽出した2000人にアンケート用紙を発送します。お手元に届きましたら、アンケートへご協力ください。届かなかった方も、左記の二次元コードからアンケートに回答できます。みなさんの声をお寄せください。

6月中旬発送  
2,000人  
まちづくりアンケート